**第５学年　　道徳科学習指導案**

１　主題名　　自分の心に誠実に［Ａ－２　正直，誠実］

２　教材名　　「千羽づる」（光村図書どうとく５「きみがいちばんひかるとき」）

３　主題設定の理由

(1)　価値観

人間は，自分の立場が危うくなりそうな時，自分の過ちや失敗を隠そうとして，うそをついたりごまかしたりすることがある。できれば，そのような行動をすることなく生きていくことが望ましいが，人間なら誰でもうそをついたりごまかしたりしてしまう弱さをもっているため，実際には困難である。一方で，うそをついたりごまかしたりすることで，自分の立場が守れたとしても，後ろめたさで自己嫌悪に陥ったり，暗い気持ちになったりすることもある。だからこそ，大切なのは，そのような行動を改めていく誠実な心であり，自らのもつ弱さや後ろめたさを克服しようとする心情である。

　　　そこで，一人一人が誠実な心を大切にし，明るい心で生活していこうとする心情を児童がもてるように育てていきたい。

(2) 児童観

　　　本学級の児童は，給食当番や係活動などの決められた役割に前向きに取り組もうとする児童が多い。また，男女分け隔てなくコミュニケーションを図る児童が多く，学級全体として，明るい雰囲気で生活している。事前アンケートにおいても，「まじめに明るく生活していますか」という項目で，「そう思う」が１０人，「どちらかといえばそう思う」が８人，「どちらかといえばそう思わない」が２人，「そう思わない」が１人となり，多くの児童が，正直で誠実に生活していることが分かった。一方で，１学期に，自分の好きなことを優先したいがあまり，友達にうそをついて自分が進んで引き受けた役割を果たさなかった児童がいた。このように，自分の甘さが原因で，善悪の判断を誤り，結果として自分の立場を悪くしてしまうことはどの児童についても，起こりうることだと考える。

　　　そこで，現実に起こりそうな場面で自分がどのように行動するかを考えさせることで，さらに正直で誠実に，明るい心で生活することができるようにしていきたい。

(3) 教材観

本教材では，「わたし」は，サッカークラブのチームメイトたちと，入院した和花のために千　　羽鶴を折る約束をしておきながら，映画の撮影の見学に行ってしまい，約束を果たすことができなかった。それどころか，「熱が出て折ることができなかった」とうそをついてしまう。うそをつかれていることに気付いていない友達は，「わたし」が折るべきはずだった分を協力して折る。千羽鶴は和花のもとに届けられ，チームメイトは喜ぶが，「わたし」はうそをついていたことを正直に話そうかどうかで思い悩む。「わたし」の思い悩む姿から，この後，どのように行動したらよいか，また，そこに至るまでにどのように行動するとよかったのかを考えるのにふさわしい教材である。

**自ら考え，議論するための工夫**

①　うそを正直に話すか，それとも，黙ったままでいるかを，自分のこととして考えることができる場を設定する。

②　行動を改めたい場面を選択させることで，具体的にどのように行動したいのかを考えることができる場を設定する。

上記の工夫を通して，自分だったらどのように行動するかを選択したり，友達の考えに触れたりしながら，誠実に行動をすることについて考えさせることにより，道徳的価値を統合させていきたい。

４　指導計画　１時間完了

５　本時の指導

(1) 本時のねらいと評価

　　　うそをついたりごまかしたりすることなく，誠実に，明るい心で生活する心情を育てる。

　　【評価】（発言とワークシートの記述内容）

　　　自己の過ちを認め，改めていくことが，自分自身に対して正直であることを理解し，うそをつ　　いたりごまかしたりすることなく，誠実にな生き方を大切にする気持ちをもつ。

(2) 準備・資料

　　　教師　千羽鶴の画像　パソコン(ＰＣ)　ワークシート

　　　児童　青札　赤札　学びの記録

(3)　関　連

○避難訓練

○学習発表会

○なかよし読み聞かせ

○道徳科（Ａ－２　正直，誠実）教材名「千羽づる」

自分の心に誠実に

○運動会

○なかよし遠足

○グループホーム訪問

統合

（補）補助発問　■　抽出児へのアプローチ

　★　評価の場面　**ゴシック：考え議論する場面**

(4)　指導過程　○　主な発問　◎　中心発問

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段 | 分 | 学習活動・主な発問と予想される児童の反応 | 形資 | 指導上の留意点 |
| 導入 | ２ | １　千羽鶴の画像を見て，どのような時に作る物かを想像する。  　・　親しい人が入院したとき。  　・　七夕や平和を願うとき。 | 斉  千羽鶴の画像  PC | ○　千羽鶴にどのような思いを込めるかは，人によって違うことをおさえる。具体的な思いにはふれない。 |
| 展  開  展  開  終末 | 28  (4)  (4)  (8)  (12)  12  ３ | ２　本教材の映像を見て話し合う。  (1)　映像を見て，あらすじを確認する。  (2) 千羽鶴に込められたみんなの思いを考える。  ○　みんなは，なぜ和花に「千羽づる」を折ろうと思ったのでしょう。　　　【他者理解】  　・　和花に少しでも早くよくなってもらいたいから。  　・　和花に元気を出してほしいから。  (3)　うそをついてしまった「わたし」の気持ちを考える。  ○　「わたし」は，なぜ「急に熱が出て，折れなかった」とうそをついてしまったと思いますか。 　　　　　 　【人間理解】  　・　やはり自分を守りたかったから。  　・　遊びが理由で折れなかったと言うと，友達に嫌われると思ったから。  　・　友達に不快な思いをさせたくなかったから。  **(4)　最後の場面での「わたし」の取った行動を考える。**  ○　あなたが「わたし」だったら，「熱が出てつるが折れなかった」といううそを正直に話しますか。それとも，黙ったままでいますか。それはなぜですか。【人間理解・価値理解】  【正直に話す】  　・　このままモヤモヤした気持ちが続くの　　は嫌だから。（正直＋）  　・　もし，うそがばれたら友達に嫌われるかもしれないから。（他者の信頼）  　・　正直に話さないと，心配してくれている友達に申し訳ないから。（他者の信頼）  　・　人として正直に話すことが大切だと思うから。（自分自身への誠実）  【黙ったまま】  　・　いまさら，うそをついてたなんて言えないから。（不利な立場からの回避）  　・　うそをついたと言うと，友達に嫌われるかもしれないから。（他者の信頼）  　・　今はモヤモヤしているけど，時間がたてば忘れるかもしれないから。  （不利な立場からの回避）  ３　「わたし」はどのように行動するとよかったかについて考える。  ◎　もし，時間を巻き戻せるとしたら，あなたは，どの場面でどのような行動をしますか。それはなぜですか。　　　　　【自己理解】  ・　お風呂に入った後に戻り，お母さんに手伝ってもらって千羽鶴を折る。  ・　「熱が出て折れなかった」とうそをついた場面に戻り，友達に正直に話す。  ・　和花に折り鶴を届けた後に戻り，うそをついていたことを正直に話す。  ４　今日の授業の感想を書く。 | 斉  個  ↓  斉  個  ↓  斉  個  ↓  ペア  ↓  斉  青札  赤札  ワークシート  個  ↓  斉  ワークシート  個  学びの記録 | ○　千羽鶴には「和花に早く元気になってほしい」というみんなの思いがこもっている大切な物であることを強調する。  ○　「わたし」も和花を心配し，鶴を折ることに賛同したことをおさえる。  ○　千羽鶴は，和花に対するみんなの思いがこもっている大切な物であるからこそ，正直に話しにくいことをおさえる。  ○　「わたし」はうそをつくことに対して後ろめたさを感じ，心の中で葛藤していることに触れる。  ○　他者からの信頼を守ろうとしたり，不利な立場から回避しようとする人間の弱さを意識させたい。  ○　「正直に話す」立場は青札，「黙ったままでいる」立場は赤札で，自分の考えを表示させる。  ○　「正直に話す」「黙ったま　までいる」，どちらでも自分　の立場が悪くなる可能性があることをおさえる。  ■　抽出児を意図的に指名し，それぞれの考えが議論することで，どのように変   |  | | --- | | （軌道修正する補助発問）  「具合が悪い？」「だいじょうぶ？」と友達から心配されている「わたし」に共感できますか。  【自己理解】 |   化したかを把握する。  ○　補助発問で，このような状況に陥った「わたし」には共感しづらいという気持ちを児童にもたせることで，次の発問をしやすくする。  ○　場面を映像で写しながら，児童に発表させる。  ■　抽出児を指名し，考えを発表させる。  ○　「お風呂に入った後，眠気に耐えて折る」「折れなかったと正直に話す」など，最後の場面で悩まなくても済んだ方法はいくつかあることをおさえる。  ★　評価の場面  ○　今日の授業で学んだとやこれからの生活に生かしたいことをまとめる。 |